

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(751)9107
担当部課名	消防本部	消防総務	課	施設
事務事業名	消防職員研修費(消防研修費)		事業コード	23130

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	~63年度
施策名	第3施策	消防力の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

消防組織法、地方公務員法、相模原市消防職員学校教育及び研修要綱
---------------------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
社会情勢が著しく変化中、市民意識やその価値観等が多様化し、消防行政に求められるものも複雑多岐にわたってきている。 また、本市が中核市指定に向けて準備をしている中、さらに職員の資質向上及び組織の活性化を図るために研修教育等は重要である。		消防吏員	
		対象数	581人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
・消防学校教育 79人 5,143千円 ・消防大学校教育 10人 1,307千円 ・基本研修 84人 } 322千円 ・職場研修 1,299人 ・派遣研修 111人 ・資格取得研修 54人 11,353千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	平成14年度研修計画
		計画年次	14年度~年度

4 評価指標

指標名	基準年(平成13年度)からみた各年度の実績額		
指標式	各執行年度/基準年(平成13年度)*100(%)		
指標設定の意図	各執行年度における当該事業の推移を見ることで、その重要度を測るもの。		

5 目標と実績

[金額単位:千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	103	106	a 100	b 100	110	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	22,915	23,486	22,084	22,084	24,484
	人員・時間数	1人・120日	1人・120日	1人・120日	1人・120日	1人・120日
	人件費	3,888	3,888	3,888	3,888	3,888
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	26,803	27,374	25,972	25,972	28,372
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	当該事業はその年度の採用職員数に比例してその規模が増減する。これは初任教育が必要不可欠のものであり、これ以外にも経年的に養成しなければならない救急救命士に重点をおいているのが現状である。		

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A : 適応している	理由 :	時代の変化に対応するためにも、常に最新の情報を収集するための機会を設けなければならない。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	職務遂行上、一定の資格取得が前提になるものであり、その専門性からもある程度の費用負担は止むをえない。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市が実施したほうがよい部分と民間が実施したほうがよい部分の両面をあわせ持っている。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	市民の生活様式や価値観が多様化している今、消防組織あるいは消防職員に求められるものは常に把握していかなければならない。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	職務上、より専門的な知識、技術、能力が必要であり、市としてあるいは組織として当該事業は欠くことはできないものである。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 組織として職員の高年齢化に対して、より高度な知識や技術の習得のための研修は勿論のこと、組織活性化のための意識高揚をいかに図るかについては改善の余地がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 現行は資格取得に要する経費に大部分が注ぎ込まれているが、それは職務遂行上必要不可欠なものでもありその経費を削減することは難しい。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	特に他市との比較をしていません。
今後の進め方		説明	消防職員として基本的な研修からより専門的で高度な研修など、様々な研修機会を与えられるよう、そしてなるべく職員間の不平等とならないよう計画的な研修計画をたてていきたい。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--